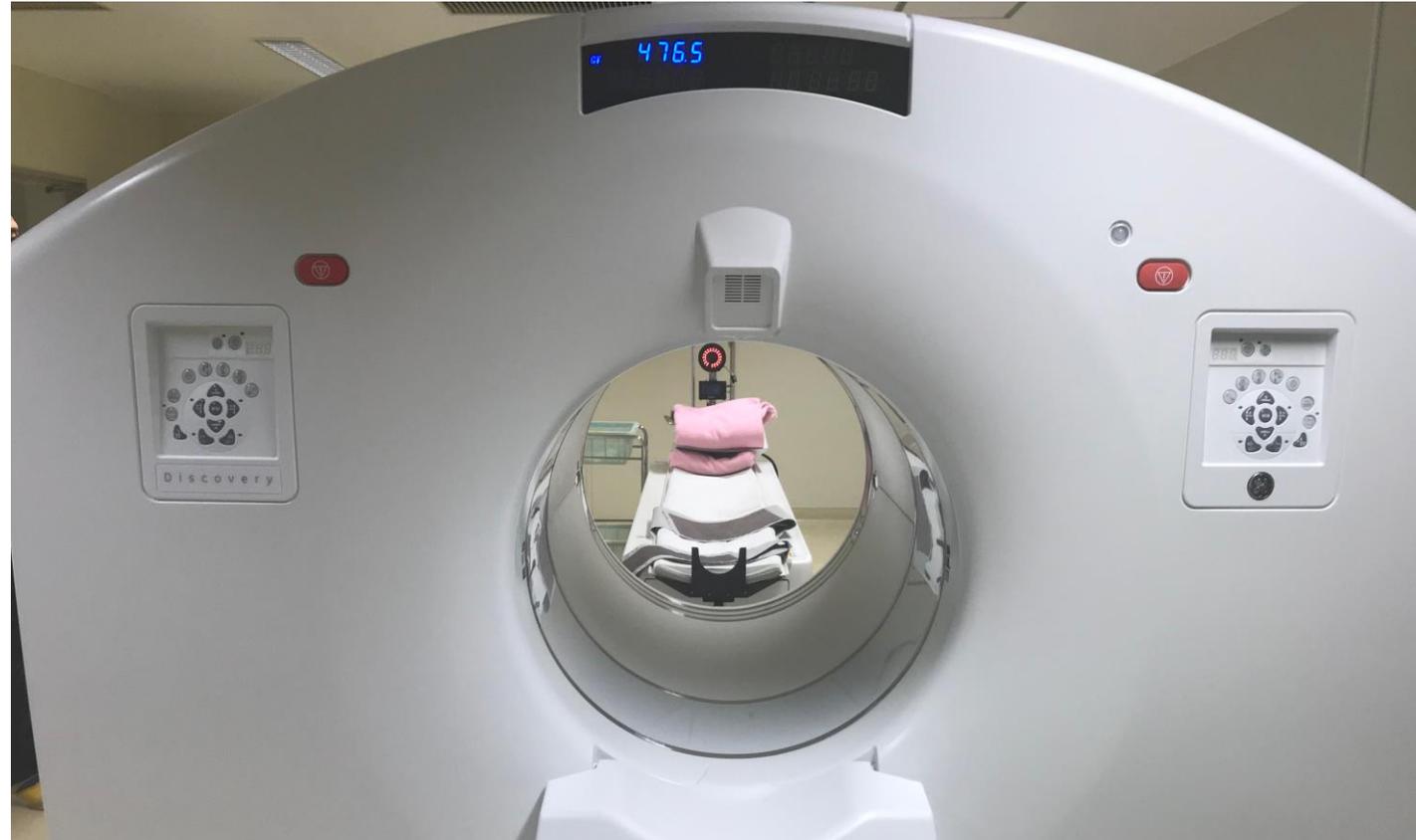


医用診断装置の仕組み ～輪切りの画像が出来るまで～



画像診断技術：「百聞は一見に如かず」

1895年のX線発見とレントゲン写真の開発で、それまで考えられなかった実際に体内を観察して診断を下すことが可能となりました。

それから百数十年、現在では体の様々な面の輪切りの画像 - 断層画像 - を自由に得られようになり、医療現場で不可欠なものとなっています。

この仕組みについて紹介します。